

Psycle Tweak コマンドマニュアル

参照 : [TWEAKINGS AND COMMANDS](#)

このマニュアルについて

このマニュアルは Psyple の [TWEAKINGS AND COMMANDS](#) を翻訳し、若干の修正、画像の追加等を行ったものです。

注意事項

- ・このマニュアルは S.F.個人で参照するために作成したものです。
- ・原文をかなり意訳および変更している部分があります。
- ・マニュアル等の内容により起こるいかなる現象・事象において S.F.は責任を取りません。

目次

[このマニュアルについて](#)

[注意事項](#)

[目次](#)

[パターンからマシンを tweak するとは](#)

[パターンに TWEAK か TWEAK SMOOTH コマンドを挿入する方法](#)

[マウスでリアルタイムに tweak コマンドを記録する方法](#)

[MIDI でリアルタイムに tweak コマンドを記録する方法](#)

[マシンのパラメーター番号を知る方法](#)

[Psyple ネイティブマシンの場合](#)

[VST プラグインの場合](#)

[パラメータ値を知る方法](#)

[VST プラグインの場合](#)

[Psyple のネイティブプラグインの場合](#)

[Psyple インターナルマシンの場合](#)

[Mcm コマンド-VST プラグインをコントロールするための MIDI CC の使用](#)

[パターン・コマンド](#)

[グローバル/トラッカーコマンド](#)

[VST コマンド](#)

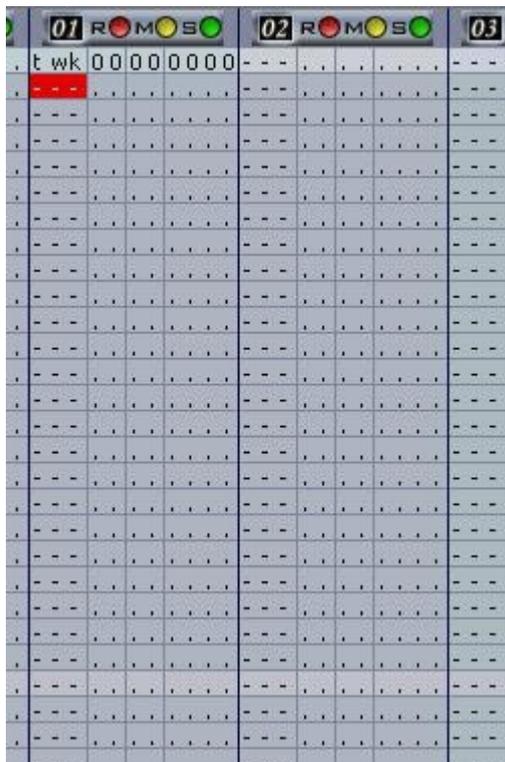
[サンプラーコマンド](#)

[Argury Synth 2f](#)

[JMDrum Synth](#)

パターンからマシンを tweak するとは

「パターンからマシンを tweak する」とは、マシンのパラメータ変更をパターントラックから行うことです。この方法で、リアル・タイム(再生中)にマシンをコントロールすることができます。そうするためには TWEAK コマンドを使用します。ノート列で「twk」のように表示されています。



さらに、TWEAK SMOOTH コマンドを使用してもよいでしょう。

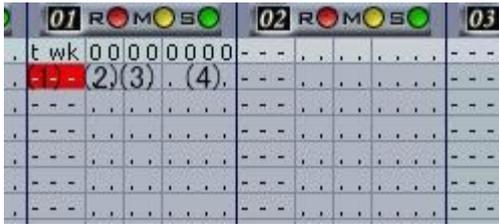
「tws」コマンドは、ノート列の中の「tws」として表示されます。

「tws」は「twk」がパターンある位置からある位置まで滑らかにパラメーターを変更する点において「twk」と異なります。

「twk」は、ソングの初期化に役立ち、少ないのオーバーヘッドですみます。

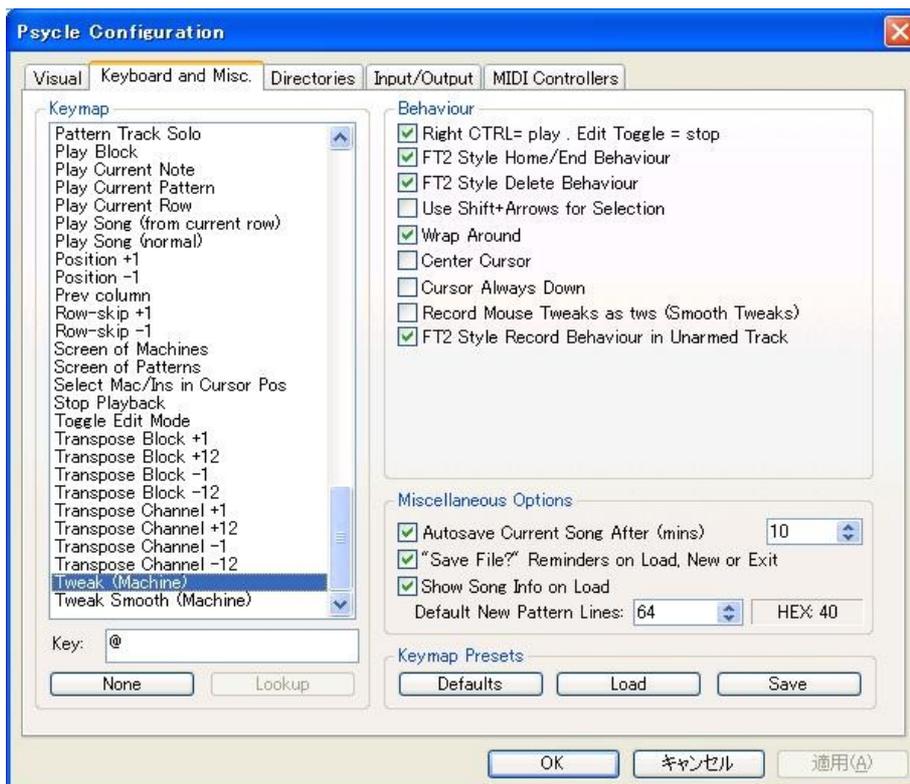
「tws」は補完された「twk」コマンドを 64 サンプルごとに送るので、「tws」は滑らかなフィルタ変化や、フェードなどに使用します。

パターンに TWEAK か TWEAK SMOOTH コマンドを挿入する方法



(1)は、TWEAK コマンドを挿入します。挿入するためには TWK キー (@)を押すべきです。TWK キーを押すと「twk」が表示されます。「tws」のためのキーもあります。

twk キーは言語により異なりますが、設定で変更することも可能です。

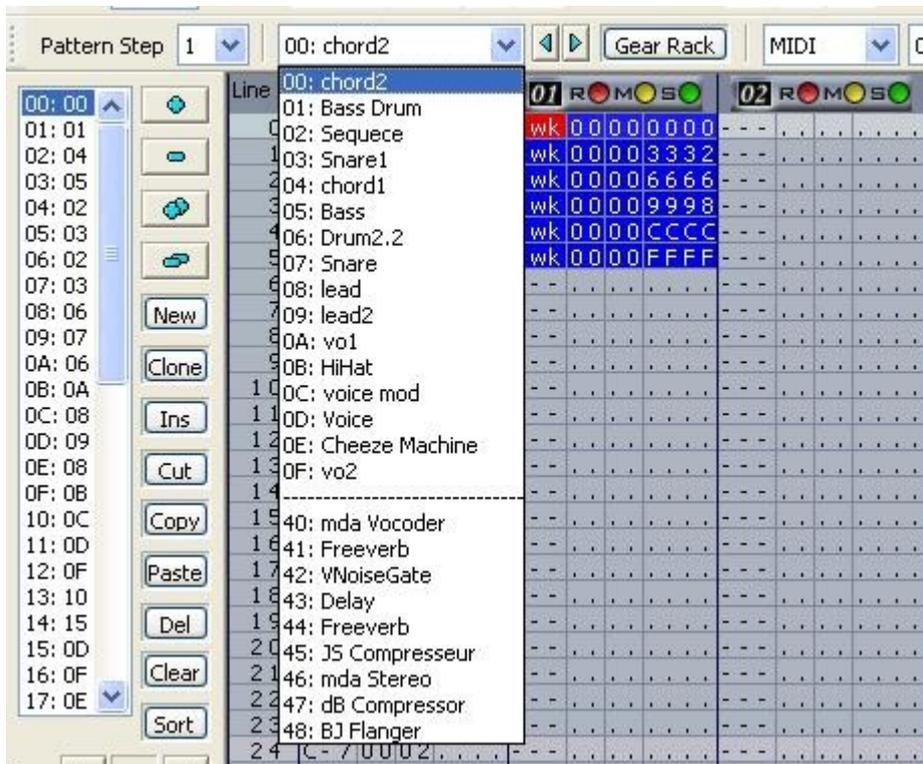


(2)は、変更したいコントローラー/パラメーターを定義します。詳細は、[マシンのパラメーター番号を知る方法](#)をご覧ください。

(3)は、マシン番号を指定します。この番号は、コンボボックスの中で、あるいはマシンダイアログの中で示される番号です。

(4)は、パラメータがとる値を指定します。ネイティブプラグインおよび [VST プラグイン](#) の間にわずかな違いがあります。

[「パラメータ値を知る方法」](#)をごらんください。



例:

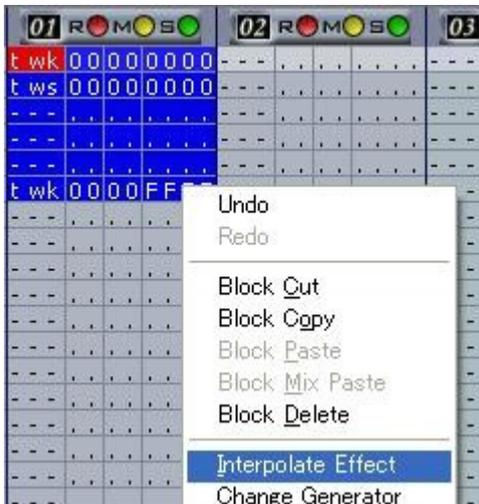
twk 05 42 0067

05 はパラメーター 05 を示します。

42 はエフェクト番号 2 を示します

0067 はパラメータ値を示します。

スタートと終了の値をセットし、それらおよび間を選択した後右クリックメニューの補完コマンドを選択することでスムーズに補完することができます。

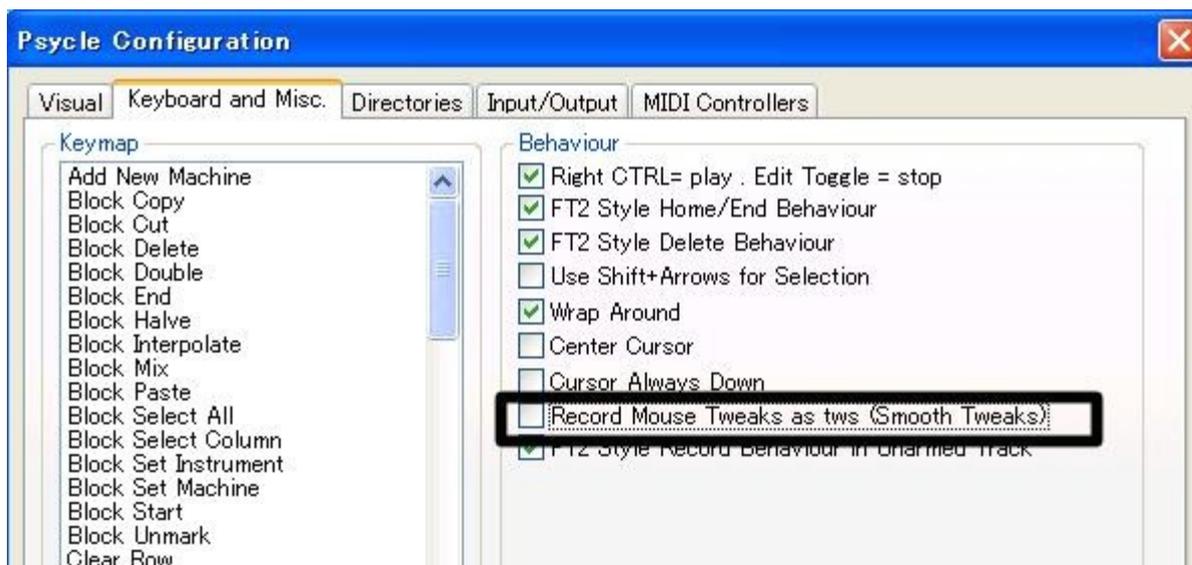


これは、tws コマンドの代わりとして手軽に使えます。

さらに、マシンの GUI の中の MIDI 入力かマウス移動によるパラメーターの調整(変化)をリアルタイムに記録することができます。

マウスでリアルタイムに tweak コマンドを記録する方法

1. config/Keyboard and Misc に行って、「Record Mouse Tweaks as tws(Smooth Tweaks)」をチェックすることを確かめてください。
twk コマンドを代わりに記録したい場合は、それを uncheck してください。



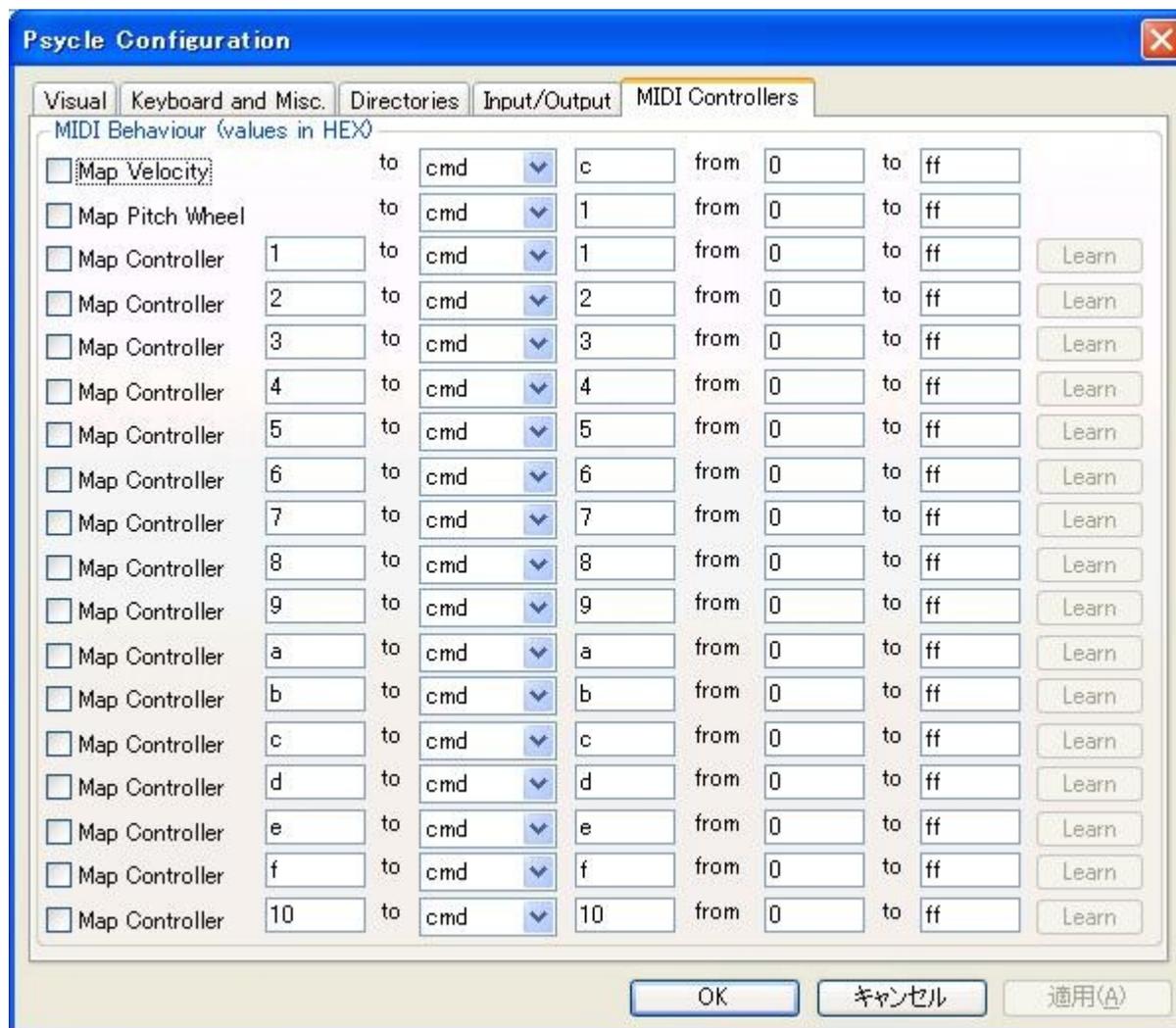
2. シークエンサーの左下の「record tweaks」をチェックしてあることを確認してください。



3. 記録したいマシンの GUI 画面をオープンします。
4. パターン・エディターで、記録したいトラックにカーソルをセットします。
5. レコード・ボタンがオンであることを確かめてください。
6. プレイボタンを押してつまみを「ぐい」とつまみをひねり始めてください。

MIDI でリアルタイムに tweak コマンドを記録する方法

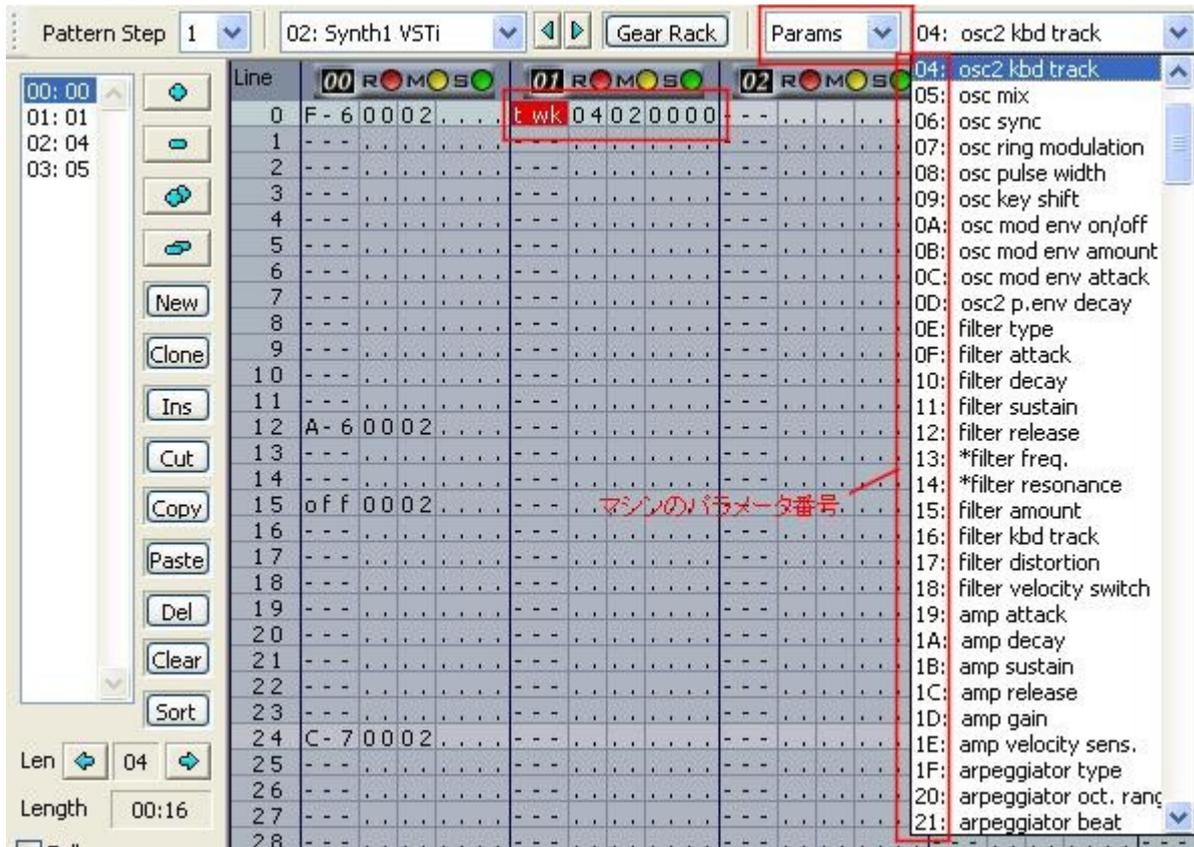
1. コントローラー・メニューに行って、あなたが記録したい情報のコントローラーおよび範囲をセット・アップしてください。記録するマシンのパラメーター番号を知る必要があるでしょう。



2. シークエンサーの下の右の中で「record tweaks」をチェックしてあることを確認してください。
3. パターン・エディターで、記録したいトラックにカーソルをセットします。
4. レコード・ボタンがオンであることを確かめてください。
5. プレイボタンを押してつまみを「ぐい」とつまみをひねり始めてください。

マシンのパラメーター番号を知る方法

プラグインのパラメーター番号を知る方法はいくつかあります。一番簡単なのは、「MIDI/Params/Sample」コンボボックスの「Params」を選択する方法です。次のコンボボックスは、選択された機械のパラメーター・リストで更新されるでしょう。twk コマンドを挿入するとき、選択された番号はパターントラックに自動的に加えられます。



さらに、次のような方法によっても知ることができます。

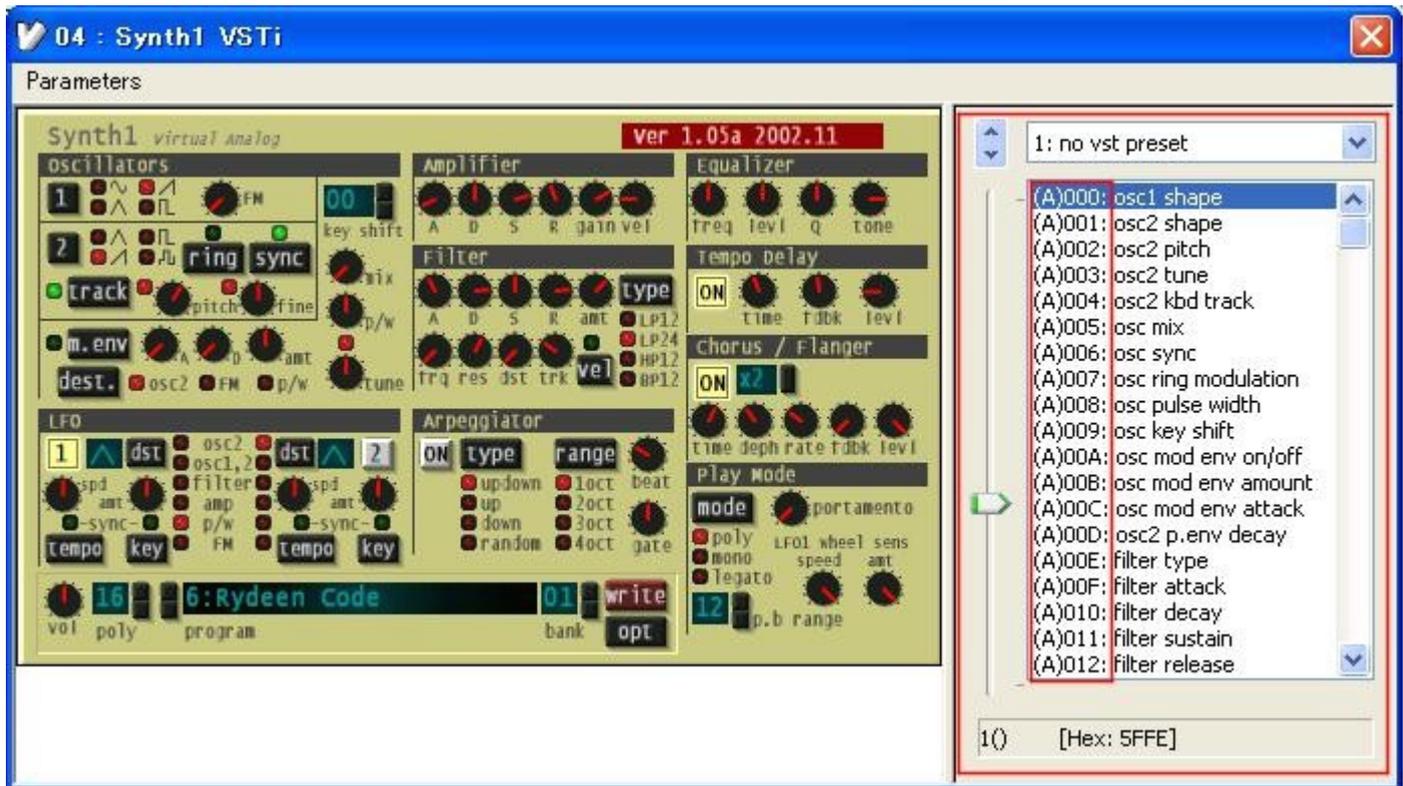
Psyche ネイティブマシンの場合

パラメーターのウィンドウを開いて望むパラメーター上で右クリックすると、「Tweaking(ぐいとひねる)」ダイアログがポップアップします。このダイアログのタイトル・バーに、HEX(16進数)で番号が表示されています。これがパラメーターの番号です。このダイアログでは、さらに完全な「twk」ラインを持っています。



VST プラグインの場合

パラメーターのウィンドウを開くと、右側にパラメーターのリストが表示されます。番号は HEX でこれらのパラメーターに付けられています。これがパラメータ番号です。



パラメータ値を知る方法

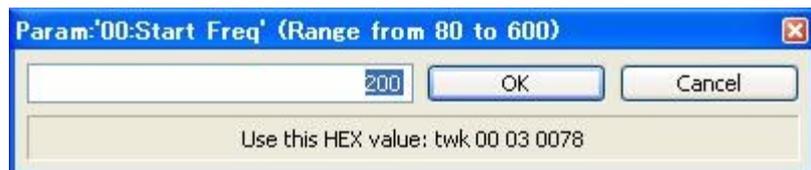
[VST プラグイン](#)と Psyche プラグインおよび内部プラグインにはパラメータ値の違いがあります。

VST プラグインの場合

値は固定範囲を持っています。0は最も小さな値です。また、FFFFは最も大きい値となります。

Psyche のネイティブプラグインの場合

つまみによって設定できる範囲が違います。希望の位置につまみを動かし、右クリックして「Tweaking(ぐいとひねる)」ダイアログを表示させて、エディットボックスの値、もしくは完全な「twk」行の値のどちらかを見るために右クリックして「Tweaking(ぐいとひねる)」ダイアログを表示させる必要があります。



アドバイス:

つまみの最小値が0(VCF Envmodのように)でない場合は最小値が0の意味となります。

Psyche インターナルマシンの場合

通常0と128(あるいは0および256)の間の値を持っています。

マイナスの値を設定するためには変換(マイナス値の絶対値+0x8000)が必要です。

例: -4の場合は0x8000を設定したい絶対値に加えて、0x8004とします。

Mcm コマンド-VST プラグインをコントロールするための MIDI CC の使用

Mcm コマンドは Twk コマンドと同様に働きます。

下の図のようなパターン列である場合、



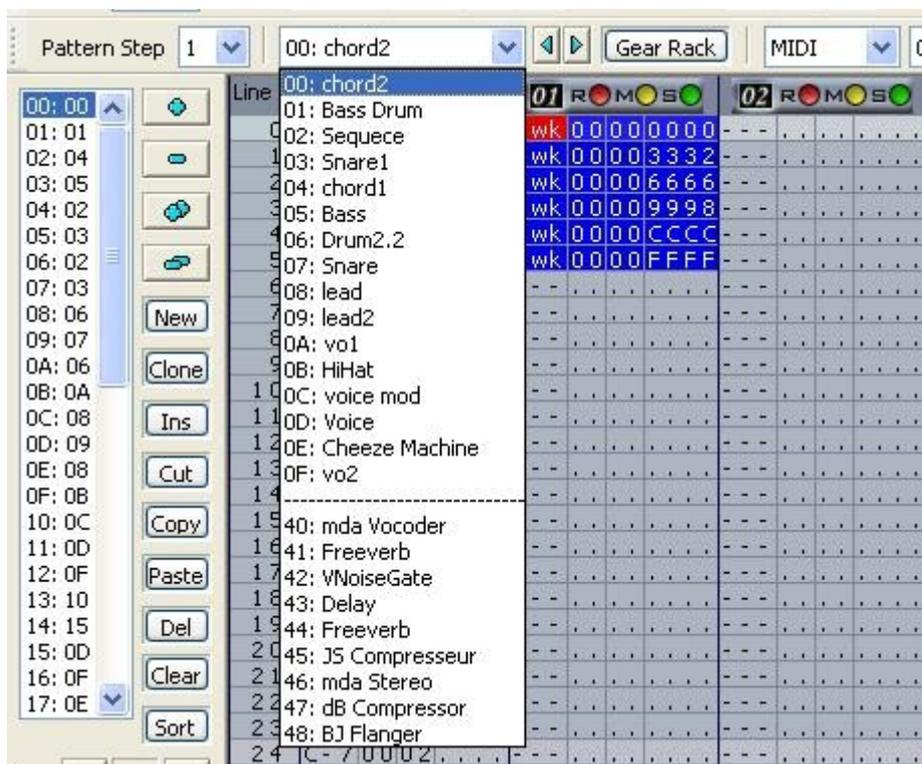
(1)Mcm コマンドを挿入します。Mcm コマンドを挿入するには Mcm キーを押します。
キーボード配置設定での現在値をチェックするか変更してください。

(2)送りたい CC(コントロール・コマンド番号)を設定します。

何を設定すべきかはプラグインのドキュメントや [MIDI ドキュメント](#) をチェックする必要があります。

(3)ちょうど”Tweak”で行うように、マシン番号を指定します。

この数は、コンボボックスの中で、あるいはマシンダイアログの中で示される番号です。



(4)、パラメーターがとる値を指定します。

(4)は 2 つの値 AABB の 2 つのグループに分割されます。AA のみ必要とするかもしれません。

例:NoteOn を送る:

Mcm 90 01 3C7F

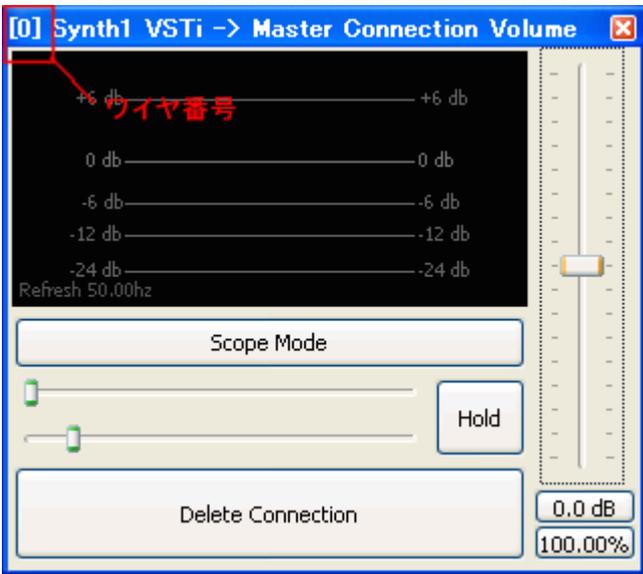
- 90 は MIDI チャンネル 1(0)上の NoteOn(9)を意味します。
- 01 はジェネレーター(マシン)番号 1 を意味します。
- 3C はノート C-5 を意味します。(3C を 10 進数に直すと 60)
- 7F はベロシティ(ボリューム)を意味します。

パターン・コマンド

Psyche は、さらにコマンド列の中でいくつかの「[Old School](#)」コマンドを使用することができます。

現在サポートされているのは次のとおりです。

グローバル/トラッカーコマンド

FFxx	BPM(Beat Per Minutes)を変更します。
FExx	1拍中の Tick 数 を変更します。
FDxx	Tick 分発音タイミングを遅らせます。(xx/256 ticks)ノートオフも同様に動作します。
FCxx	グローバル、ワイヤ(接続)ボリュームを変更します。 例: ... FC80 グローバルボリュームを半分にセットします。 01 05 FC40 ジェネレータ5のワイヤ(接続)1のボリュームを1/4にします。 01 45 FC30 エフェクト5のワイヤ(接続)1のボリュームを0x30にします。 AUX カラムはワイヤ番号を意味します。それは、ワイヤダイアログのタイトルで確認できます。 
FBxx	リトリガーを行います。 x/256 は、トリガの持続 Ticks を設定します。
FAxy	リトリガーを継続します。 x/16 は、トリガの持続 Ticks を設定します。0は現在値を使用します。 yはアクセラレーション値です。1-8までがポジティブアクセラレーションで9-fまでがネガティブアクセラレーションです。 新しいパターン行でトリガーせず、前のリトリガー位置の継続を行うコマンドです。
F8xx	マシンの定位(パンニング)を設定します。 例: 05 F880 ジェネレータ5の定位(パンニング)を80(真ん中)に設定します。

VST コマンド

0Cxx	ボリュームをセットします。(ノートオン時のみ有効)
10xx	OLD_MIDI コマンドです。現在はドキュメント化されていません。「Mcm」コマンドを使用してください。

サンプラーコマンド

01xx	ポルタメントアップ
02xx	ポルタメントダウン
08xx	定位(パンニング)をセットします。
0ECx	x フレームでノートカットします。
0EDx	X フレーム分ノートオンを遅らせます。
15xx	リトリガーコマンドです。 yはリトリガーの回数(1だと1回) xは次の方法でボリュームを変化させます。 0 or 8 : 変化なし 1: +1 9: -1 2: +2 A: -2 3: +4 B: -4 4: +8 C: -8 5: +16 D: -16 6: *2/3 E: *3/2 7: *1/2 F: *2

Argury Synth 2f

01xx	ピッチ・スライド・アップ
02xx	ピッチ・スライド・ダウン
03xx	ピッチ・グライド
04xy	ビブラート(x=デプス、y=speed)
07xx	VCF エンベロープのモジュレーションを変化させます。
08xx	VCF のカットオフ周波数を変化させます。
09xx	VCF のレゾナンスを変化させます。
0Exx	x フレームでノートカットします。
11xx	VCF のカットオフ周波数をスライドアップ(段階的に上昇)させます。
12xx	VCF のカットオフ周波数をスライドダウン(段階的に下降)させます。

JMDrum Synth

0Cxx	ボリュームをセットします。
------	---------------